

1 看護学科における教職課程の理念

看護学科教職課程は、
看護学科で学ぶ健康と看護の知識・技術を基盤に、
社会の変化に対応した
教育及び医療ニーズに貢献できる人材育成を目指します。

高等学校教諭（看護）は、高校で初めて看護を学ぶ生徒に対して、高校生という発達段階に合わせた看護基礎教育を実践していきます。また、将来看護師として働くために必要な社会人として自立していくためのキャリア発達を促す力が必要となります。

看護学科では、いのちと向き合う豊かな感受性と看護倫理に基づく判断と責任を身につけ、高等学校における看護専門教育を実践し、生徒の将来を育む指導を教育的に提供できる教師の育成を目指します。

養護教諭は、学校で、子どものニーズを把握し、救急処置をはじめとする保健管理や保健教育を実践していきます。また、健康課題を解決していくため、子供や教師だけでなく、保護者や地域の方々と連携し関係機関と協働できるコーディネータ力が求められています。

看護学科では、あらゆる健康レベルにある個人、家族及び地域社会を対象とした根拠に基づく看護実践能力を身につけ、ケアと教育で QOL（Quality of Life）向上に寄与することができる教師の育成を目指します。